



2020年1月22日

各位

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)
代表者 取締役社長 藤田 晴哉
(コード番号 3106)
問合せ先責任者 総務部長 北勝 浩之
(TEL 06-6266-5111)

繊維事業の構造改革について

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り繊維事業の構造改革を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 構造改革の理由

当社繊維事業部は、国内衣料品市場の低迷や繊維製品デフレ、海外企業との価格競争の激化などの厳しい環境のなか、これまで国内において一定規模の設備保有と雇用維持に努めてまいりました。

しかしながら、事業環境は今後より一層厳しさを増すものと予想される状況において、繊維事業の収益力を向上させるためには、高付加価値ビジネスへの転換とグローバルな視点での生産体制の抜本的な見直しが必要であると判断いたしました。その具体策として、丸亀工場の操業を停止し、国内の生産設備を安城工場に集約するとともにスマートファクトリー化を推進、さらに海外生産拠点を最大限に活用することで、グループ全体でのコスト競争力、開発力を一層強化し、繊維事業の収益基盤の再構築を図ってまいります。

2. 構造改革の内容

- (1) 紡績、織布部門の安城工場は、併設するテキスタイルイノベーションセンターとの連携により開発、生産技術を強化するマザー工場として位置づけ、染色加工部門の徳島工場とともに、独自技術による高付加価値素材の開発とスマートファクトリー化を推進する。
- (2) 海外生産拠点は、コスト重視の国内生産品を移管し、生産効率と品質力の向上を図るとともに、自立的な開発、販売体制の強化を図る。
- (3) 丸亀工場は、2020年3月31日(予定)をもって操業を停止する。

①丸亀工場の概要

所在地	香川県丸亀市塩屋町1-8-1
敷地面積	約57,000㎡
事業内容	綿合繊維の紡績
設備	紡績錘数：20,584錘
従業員数	83名(2019年12月31日現在、準社員・パートを含む。)

※設備の一部は安城工場へ移設する。

②従業員の処遇

今後、労働組合とも協議のうえ、決定してまいります。

3. 今後の見通し

今回の繊維事業の構造改革が業績に及ぼす影響につきましては、現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上